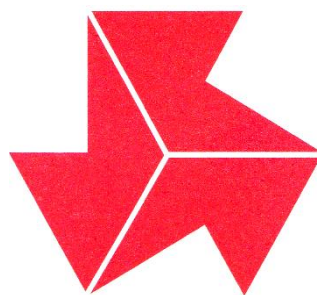


第71回 東海高等学校総合体育大会 ホッケー競技

令和6年6月22日・23日
会場：川崎重工ホッケースタジアム



- 主 催 東海高等学校体育連盟
三重 愛知 静岡 岐阜 各県教育委員会
三重 愛知 静岡 岐阜 各県ホッケー協会
- 後 援 (公財) 岐阜県スポーツ協会
- 主 管 岐阜県高等学校体育連盟 ホッケー専門部
(一社) 岐阜県ホッケー協会
- 協 賛 菅公学生服株式会社

第71回東海高等学校総合体育大会

ホッケー競技

期 日 令和6年6月22日(土)・23日(日)
会 場 川崎重工ホッケースタジアム

1 大会役員

岐阜県高体連ホッケー専門部長	野田 正明	(岐阜各務野高等学校校長)
東海ホッケー協会 会長	田中 健一	(静岡県ホッケー協会会長)
岐阜県ホッケー協会 会長	武藤 容治	
愛知県ホッケー協会 代表理事	大橋 俊彦	
三重県ホッケー協会 会長	芳野 正英	

2 競技役員

T D	苅谷 和代(岐)				
U M	重森 誠(岐)				
T O	蔦木 勝(岐)	加藤 知明(愛)	杉山 龍児(静)	太田 勝也(三)	
ジャッジ	下島多美子(岐)	高島 匡代(岐)	石井 望仁(岐)		
	北川友香子(岐)	蛸崎 真菜(岐)			
審判員	佐合 亮治(岐)	渡辺 大貴(岐)	小坂井悠平(愛)	柳本 主貴(愛)	
	石橋 徹也(静)	加藤 和則(静)	伊野 友祐(三)	西岡 結(三)	

3 運営役員

委員長	長尾 美和(岐)				
副委員長	勝又 隆光(静)	天野 貴彦(愛)	節句田 悟(三)		
総務	大野 壮太	酒井 健之	渡辺 大貴		
競技進行	大野 壮太	酒井 健之			
式典	酒井 健之	大野 壮太			
会場	佐合 亮治	渡辺 大貴	山岡 光紀	長屋 恭太	森 雄哉
	大熊 洋剛	佐合 重治	児玉健一郎		
時計得点	大熊 洋剛	吉田 隆仁			
記録報道	長尾 美和	二宮有倭香			
放送	渡辺 誠	高井絵里奈			
救護	森 なつみ	高井 晴美			
補助員	岐阜県高等学校	ホッケー部	部員		

4 式次第

[開会式]

- (1) 役員・選手整列
- (2) 開式通告
- (3) 優勝旗返還
男子 岐阜総合学園高等学校
女子 岐阜各務野高等学校
- (4) 主催者挨拶 (岐阜県高体連ホッケー専門部長 野田 正明)
- (5) 祝辞 (岐阜県ホッケー協会 会長 武藤 容治)
- (6) 競技上の注意 (TD 荻谷 和代)
- (7) 選手宣誓
岐阜各務野高等学校 主将 浅野 華菜
- (8) 閉式通告
- (9) 役員・選手退場

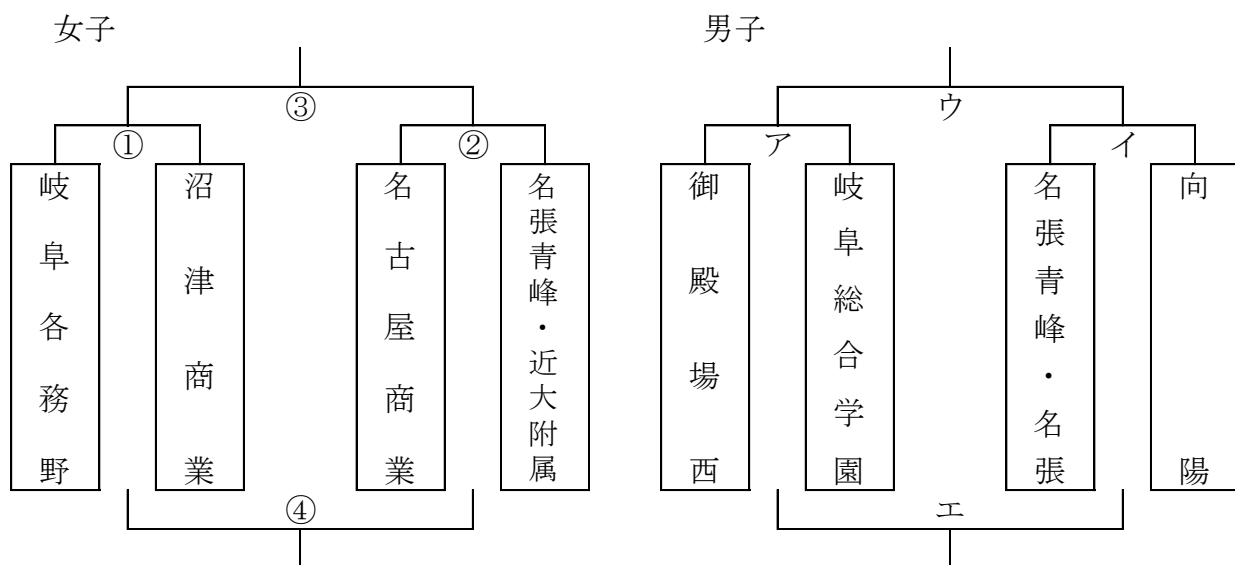
〈注〉ユニフォームで参加して下さい。
部旗、旗竿の準備をお願いします。

[表彰]

- (1) 選手整列
- (2) 表彰 (岐阜県高体連ホッケー専門部長 野田 正明)
- (3) 選手退場

〈注〉閉会式は行わず、競技終了後(順位決定次第)ただちに表彰を行います。
ただし、雨天や競技の進行具合により、変更・中止することもあります。

5 組み合わせ



6 日程

○第1日目 6月22日(土)

監督主将会議 8:30 ～

開会式 9:00 ～

競 技

女子 第①試合 9:30 ～ 岐阜各務野 対 沼津商業
 男子 第ア試合 11:00 ～ 御殿場西 対 岐阜総合学園
 女子 第②試合 12:30 ～ 名古屋商業 対 名張青峰・近大附属
 男子 第イ試合 14:00 ～ 名張青峰・名張 対 向陽

○第2日目 6月23日(日)

競 技

女子 ③ 決勝戦 9:30 ～ ①の勝者 対 ②の勝者
 女子 ④ 3位決定戦 11:00 ～ ①の敗者 対 ②の敗者
 男子 エ 3位決定戦 12:30 ～ アの敗者 対 イの敗者
 男子 ウ 決勝戦 14:00 ～ アの勝者 対 イの勝者
 (女子 代表決定戦 15:30 ～ 2位と3位が1回戦で対戦していない場合)

順位

	男 子		女 子	
第1位	高校	県	高校	県
第2位	高校	県	高校	県
第3位	高校	県	高校	県
第4位	高校	県	高校	県

なお、以上の結果により、男子1位から3位、女子1位から2位は、
 7月27日～7月31日に長崎県で開催される全国高等学校総合体育大会への
 出場権を得る。

競技運営規定（抜粋）

1 大会運営

本大会は、2024年度公益社団法人日本ホッケー協会の〈ホッケー競技運営規定（レギュレーション含む）並びに、東海高等学校総合体育大会ホッケー競技実施要項により運営される。〉もしもその解釈等に疑義が生じた場合、あくまでも〈ホッケー競技運営規定〉本文にしたがって解決を図るものとする。

2 競技規則

競技規則は、2024年度公益社団法人日本ホッケー協会競技規則による。

3 競技方法及び試合時間

男女：トーナメント方式とする。試合は、15分間の4クォーターと10分間のハーフタイムからなる。（クォーター制・ストップ方式）

第1クォーターと第3クォーターの終了後に2分間のインターバルを設ける。

（気温によってはインターバルを3分間とする場合もある）

4 試合管理

試合時間は、テクニカルオフィサー（TO）が管理する。ただし、終了間際に与えられたペナルティーコーナーは、規定の試合時間が終了しても中止されることはなく、それが完了するまで続けられ、完了したときはアンパイアのホイッスルをもって規定時間の終了となる。

5 勝敗の決定方法

試合が、上記試合時間ないに勝敗が決しない時は、下記の方法により勝敗を決定する。6に定める方式により、シュートアウト戦（以下S0戦と称する）を行い勝敗を決定する。

6 S0戦による勝敗の決定方法

①両チーム監督は 公式記録用紙に記載されているプレイヤーの中から、攻撃を行う5名のプレイヤーと守備を行う1名のプレイヤーを指名する。S0戦での選手交代は認められない。（攻撃の順番を予め申告する必要はない）

②S0戦実施時に TD により出場停止処分を受けているプレイヤーや試合終了時に続けて行われる S0 戦の当該試合でレッドカード処分を受けているプレイヤーは参加出来ない。

③試合終了時に続けて行われる S0 戦の当該試合でレッドカード処分を受けているプレイヤーを除き、スターティングリストに記載されている者はハーフライン近傍のフィールドに入ることができる。

④GK または守備者はサークル外のバックラインの外で待機しても良い。

⑤S0を行うプレイヤーと守備者のみが23mエリア内に入ることができる。

⑥両チーム5名のシューターが交互にS0を行い合計10回のS0が行われる。

⑦得点の多いチームが勝者となる。たとえ10名のプレイヤー全員がS0を終了してなくても、勝敗がきまった時点でS0戦は打ち切られる。

⑧S0戦実施中にGKまたは守備をするプレイヤーがプレー不能となった場合は、退場処分となっているプレイヤー以外の公式試合記録に記載されているプレイヤーの中から交代させることができる。

⑨両チーム5名によるS0が終了した時点でゴール数が同じだった場合は、同じプレイヤーにより両チーム5回のS0を行う第2シリーズを実施する。(新たなシリーズ終了時点でもゴール数が同じであった場合は、更に新たなシリーズを繰り返す。シリーズ毎に先攻と後攻を入れ替える) 攻撃を行う順番は第1シリーズと同じでなくてよく、S0ごとに監督が指名する。同数のS0を行った時、どちらかのチームがゴール数を上回っていた場合はそのチームを勝者としてS0戦は終了する。

7 競技フィールドへの立ち入り

①コーチは、試合の間はいかなる状況下でもフィールドに入場することはできない。ただしS0戦実施中は入場することができる。

②試合に直接関与する22名の選手と2名の審判員の他は、たとえ誰であろうとも審判員の許可がない限りフィールド内に立ち入ることはできない。

③フィールド内で給水および摂食してはならない。試合中断中を含め、試合中に摂食するプレイヤーはフィールドを出なくてはならない。GKは直近のフィールドから出入りしてよい。

④チーム役員とプレイヤーはハーフタイムの間、T0の許可によりフィールド周辺の競技エリアから離れることができる。

8 選手交代

①いつでも許される。ただし、ペナルティーコーナーが与えられてから完遂するまでの間は交代が許されない。しかし守備側のGKがケガをするか退場させられた場合のみ、その交代が認められる。

②交代はジャッジ席前のセンターラインから3m以内の場所で行う。

③フル装備のGKの交代は、審判員の管理の下で、試合時間を一時停止して行う。その際の交代は、23m付近でよい。

9 その他

①試合中、審判員に対する誹謗、乱暴なプレー・スポーツマンシップにふさわしくない行為は厳に戒める。(応援にも適用・監督の管理責任とする)

②出場チームは、試合開始45分前までに監督署名済のスターティングリストを1部、本部(管理棟)へ提出する。

③出場チームが定刻までに参集しないときは、棄権したものとみなし相手の不戦勝とする。

④試合開始6分前に、リングパス、並びに服装・装具の点検をテクニカルテーブル前で行う。

⑤セレモニーは、テクニカルテーブル前で挨拶、センターで挨拶、試合開始試合終了後は、センターで挨拶、各チームベンチへ戻る。

⑥大会期間中、背番号の変更は認めない。

⑦ベンチは、「6日程 競技」に記載されている左側チームを、ジャッジ席側から見て左側のベンチとする。監督は、ベンチにいる全員の行動に対して責任をもつ。

⑧チーム主将はキャプテンマークを付ける。

- ⑨試合中にプレイヤーが着用するその他の衣類は着用しているユニホームと同じ色でなければならない。ヘッドバンド及び汗止めのリストバンドは相手チームのユニホームと違う単色（但し蛍光色は除く）であればよい。
- ⑩負傷・出血したプレイヤーは、直ちに退場し、止血処置、傷の手当て・洗浄が完了するまで再出場することができない。（血の付いた衣類は交換し、用具も洗浄しなければならない）
- ⑪試合に際し、各チームは必ず2種類のユニホームを準備し、さらに、番号なしの予備ユニホーム2着を用意しておくこと。
- ⑫試合終了後、両チーム監督はテクニカルテーブル前で公式記録用紙に署名する。
- ⑬本大会において抗議の申し入れはできない。
- ⑭競技運営に関する疑義が生じた場合は、大会本部が決定する。
- ⑮荒天等の場合、大会本部にて試合の運営について決定する。
- ⑯本規定に定めのないものについては、監督会議の席上において取り決める。
- ⑰不測の事態が生じた場合、大会本部の指示に従うものとする。
- ⑱ベンチには、エントリーされた者（引率責任者1名、監督1名、コーチ1名、選手15名、フィジオ又は手当する者2名、ベンチアシスタント2名の最大22名）以外に入ることはできない。校長についてはこの限りではない。
- ⑲登録選手は、マウスガードの装着を義務とする。但し、装着ができない場合にはマウスガード未装着届を提出する。
- ⑳監督会議当日、顔写真入りの日本協会登録一覧を印刷して提出すること。

(memo)